

昭和四十三年一月招集
第一回市議全臨時全會議錄

館山市議会第一回臨時会会議録

昭和四十三年一月招集

一月二十五日(木曜日)

一、現在議員三十名でその氏名次のとおり

一番	吉田 勇治郎	二番	石井 輝久
三番	嶋田 石蔵	四番	伊賀 多朗
五番	藤田 益治	六番	磯辺 博
七番	白熊 盛太郎	八番	黒川 正
九番	三幣 勇	一〇番	西村 真次
一一番	菊井 敏博	一二番	小柴 孝
一三番	山田 教宇	一四番	遠山 ヨネ子
一五番	石井 正	一六番	五嵐 昇
一七番	江田 徳太郎	一八番	安西 益男
一九番	島野 茂樹郎	二〇番	中村 省吾

二番 関 武夫

二番 小澤恵太郎

三番 飯田義男

二四番 田中祿郎

五番 田村源治郎

二六番 秋山六三郎

二七番 安天徳順

二八番 望月照正

二九番 鈴木市蔵

三〇番 山口 康

一 議事日程

日程第一 議案第一号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び

費用弁償に関する条例の一部を改正

する条例の制定について

日程第二 議案第二号 昭和四十二年度館山市一般会計補正予算

(第四号)

日程第三 議案第三号 昭和四十二年度館山市休養施設特別会計

補正予算(第二号)

一 法第百二十一条による出席説明員

市長 本間 謙

助役 小出 武男

収入役 高木 哲三

秘書課長 小倉 登男

人事課長 小沢 正治

庶務課長 山口 実

財政課長 長谷川 広治

商工観光課長 山田 俊康

土木課長 飯田 治男

農林水産課長 伊藤 幸太郎

福祉事務所長 池田 亮山

一本議会の事務局長、局長補佐、書記及び取員

事務局長 高梨 青一

事務局長補佐 太田 博雄

書記 兵藤恭一

同 青藤武男

同 庄司 徹

同 錦織睦子

取 島田 守

出席議員 二十八名

欠席議員 二名

午前十時五分 開議

議長(吉田勇治郎君)本日出席議員数 二十七名

より(昭和三十四年度第一回市議会臨時会を開会

いたします)

本臨時会より議案審査のため地方自治法第百二十一

条の規定による出席要求に対し、本間、市長、小出助
役、高木収入役、山口課長、長谷川課長、池田課長、
小倉課長、小沢課長、山田課長、飯田課長、伊藤
課長、以上、者が出席する旨、報告がありました。
議案を配付いたさせました。
議案より配付漏れはございませんか。——配付漏れなしと
認めます。

会議録署名員より決定を行ないます。

本臨時会より会議録署名員に七番議員白熊盛太
郎君、二五番議員田村源治郎君、以上両君を指名
いたします。——二、三に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(吉田勇次郎君) 異議なしと認めます。よって決定いた
します。

会期の決定を行ないます。

本臨時会、会期につき、議会運営協議会の意見は本日一日ということであります。

おはかりいたします。

会期を一日と決定することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(吉田勇次郎君) 異議なしと認めます。よって会期は一日と決定いたします。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行ないます。こゝより本臨時会の議案につき市長の説明を求めます。

(市長登壇) (拍手)

市長(本間譲君) 新年おめでとうございます。ここに昭和四十三年の輝かしい新年を迎えまして、議員各位

とともに、館山市民のますます御健康と館山市の発展を念願いたし、存ずるわけでございます。

本日臨時市議会を招集いたしまして、議員の各位におかれましては非常に御多忙のところ、お寒い中、御参集いただきまして、まことにありがとう存じました。

本日、上程いたします付議事件は一般議案といたしまして非常勤の特別職にかかわる報酬及び費用弁償に關する条例でございますが、これは福敷の議会におきまして御説明いたしまして、市制三十周年、並びに明治百年を記念いたしまして、市史を編さんするため、こゝら市史編さん委員会委員の方に支給する日額報酬の額を新たに条例中に加え同事業の円滑な推進をはかりうとするものでございます。

次に予算關係議案といたしまして一般会計及び休養

施設特別会計の補正であります。すでに青少年
の話し合いの場として推進してまいり本年
実施事業のうちへ播新宿及び堂の下青年館
について正木向に建設することが決定し、正木
青年館建設費百六十四万四千円、また昭和四十二年
九月台風二十七号による波浪のために発生し、また
香魚港災害復旧事業費として、もう揚げ場二四メ
ートルの復旧が、今回国の査定が終りまいりました。
この復旧費百三十五万九千円、その他自動車購入
費百三十四万四千円、市史編さん委員報酬二万六千円
土木橋梁新設改良費二十三万四千円、計四百六十四万
余の補正をお願いする次第でございます。

この充当財源として、果国支出金百八十六万五
千円、競輪収入として二百万四千円、他を一般財源と

もつて充當しようというものでございます。

次に休養施設特別会計の補正でございますが、これは御承知のとおり昭和三十五年鳩山さんより青少年のいい場所として土地の寄付によりミニ国民宿舎鳩山荘を全国に先がけて建設いたしました。以来全国的にも屈指の宿舎として利用されておるわけでございますが、この鳩山さんと薫陶もありますことと存じますので、このゆかりある地を記念して鳩山さんの胸像を建立してその遺徳の幾分でもたたえようというものでございまして、この建立委託費百万円を計上いたしたわけでございます。

以上簡単な説明でございますが、詳しいことにつきましては関係課長より御説明を申し上げますので、慎重御審議の上御決定をたまわるとお願い申

—上げまして、私うごあいさつといたします。（拍手）

議長（吉田勇治郎君）日程第一、議案第一号を議題といたします。

（書記朗読）

議案第一号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の決定について。

秘書課長（小倉登男君）議案第一号につきまして御説明申し上げます。

先ほど市長の説明の中にもありましたように先般お願いしていたまいに館山市史編さんに当りまして、委員会規定によりまして、市長、助役、教育長を含めまして十五名の委員に御就任いただいておりますが、その委員の方々の費用弁償といたしまして、日額七百円

を支払いたく、この特別職員の係る報酬及び費用弁償に関する条例の中に付け加えたい。どうかお願いいたします。

議長(吉田勇治郎君)おはかりいたします。

本案を討論省略(原案通り)可決するに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(吉田勇治郎君)異議なしと認めます。よって本案は、原案通り可決いたします。

日程第二、議案第二号を議題といたします。

(書記朗読)

議案第二号 昭和四十二年度館山市一般会計補正予算

(第四号)

財政課長(長谷川広治君)四十二年一般会計の補正予算

第四号について御説明いたします。

今回追加したい金額は、四百六十四万三千円でございますが、歳出につきましては、純追加額が、六百八十七万五千円、更正額が二百二十三万七千円ございまして、差し引き歳入に四百六十四万三千円を追加、歳入におきましては、純追加額は、四百六十四万三千円でございます。

今回、補正予算におきます、財源内訳は、一般財源が、一六〇七六、特定財源が八三、二四％という二つの相対となっております。

補正の内訳は、三ページから、四ページまで、補正予算表にかかげてございますので、説明を省略させていただきます。なお、細部はわかりましては、六ページから、

明細書により御説明を申し上げます。

歳入につきましては、七ページ、総務管理費、財産管理

理費として百三十三万三千円を追加いたしまして。

ニハは備品購入費として百三十四万自動車購入費として追加計上いたしまして、現在、財政課で普通乗用車として四台の運行管理をいたしておるわけでございますが、うち一台が購入後すでに七年六ヶ月を経過しており、最近故障回数も多くなりまして、それ以上に事体が相当いたんでおりまして、事故防止の關係から、今回新たに車を一台購入いたしまして、配属を変更のうち四台引き続き管理運営を行なうとしていきたい。かように考えて百三十四万計上いたしましてございます。

その一部の財源として、市有財産の確認事務の臨時職員、賃金から十方五千円減額いたしまして、ニハは当初予算成立後職員、配

置転換等によりまして臨時職員が不必要と申し
ますか、正規の職員で何とかいういために賃金が
不用額となる予定でございますので、十万七千円を財
源として更正いたした次第でございます。

以下所管課長から、それぞれ申し上げます。

秘書課長（小倉登男君）先ほど御決議をいただきま
した市史編さん委員の報酬、前回存目でお願いでござ
いますので、ここに十二人分本年当中三回予定いた
しまして、二万六千円をお願いいたした次第でございます。

福祉事務所長（池田亮山君）第三款民生費につきまして
御説明申し上げます。

かねてから正木に向地区で青年館の建設を要請
されておたうでございしますが、果と云ういろいろ折衝が結
果、果は補助額が獲得できまして、ここに百六十万

四千円、追加をいたしまして、正木青年館の建設をい
たいたいと思うわけでございます。各節にわたりま
ては十一節の需用費が三千円が建設に要します。用
館の際の食料費でございます。なお、役務費は、
建築確認手数料、工事請負費が百六十万が青年
館の本体工事の費用でございます。正木向二千十四
番地、若宮神社の境内、及びその周辺の部落、区有
地を二、敷地にしまして建設するものでございます。
構造は木造、かわらぶき平屋建て、約八三・〇九五平方メ
ートルのものでございます。以上御説明申し上げます。

・農林水産課長（伊藤幸太郎君）第大款、農林水産業費
でございますが、説明が都合上、九ページの災害復旧
費につきまして、関連いたします。御説明申し上げ
たいと思います。先ほど市長の方から申し上げま

たとひ昨年九月の台風によりまして、香魚港の
もう揚げ場が相当破損いたしまして、今回国の認
定の結果、災害復旧費の適用を受けることに決定
いたしたわけでございます。その結果、二回メートルの
揚げ場の復旧費とそれに関連いたしますところの
もう揚げ場の上張り工事が認められまして、総工
費百九十万五千円が決定を受けたくわけてござい
ます。内訳といたしましては、まず、本工事は百七十八万円
それから三万五千円、事務費として九万円の認定
を受けたくわけてございまして、百九十万五千円をそれ
ぞれ各節に分けまして、ここに計上いたしましてござ
います。そううち給料、職員手当につきましては、
この事務費の中に延三ヵ月分の職員給料が認
定されまして、一般の水産業費の中の給料から

こちらに組かえをいたしております。

そういう関係で第六款の農林水産業費は、款内の更正でございまして、それ以外の各節にわたります。減額をお願いいた次第でございまして、以上でございまして、土木課長（飯田右男君）八款土木費の補正について御説明申し上げます。

神戸の茂名にあります、照尾橋が最近バスとか、大型車によつて損傷がはなはだしいので、だいぶ危険な状態にありますので、この際、本明細書のように補正いたしまして、鉄筋コンクリート橋、長さ五メートル幅四メートルにかけかえたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

財政課長（長谷川広治君）以上概略でございしますが、歳入の御説明を終わります。歳入総額四百六十四万三千円

という事に相なります。

引き続きまして六ページの歳入について御説明申し上げます。

歳入につきましては、ただいま歳出で御説明いたしまして、もうなものが、執行されるといたしますと、それに対応する金額、それが一七・九款の三款に計上されておりますが、香漁港の災害復旧費の負担金、関係で総額百五十四万三千円を、それぞの国の支出金、県支出金、寄付金の三款に分けて計上いたしております。

それから青年館の補助金、関係で五十五万、寄付金で六十万、総額百十万でございます。

歳入に関連いたしまして、差し引きいたしますと、二百万円の財源不足ということになりますので、今回競輪事業の収入から二百万を財源として使用するために計上

いたしてございます。

競輪収入はあと一回二月九千葉競輪が残っておりますが、大体五千五百万程度は最低収入さるんではなからうかというふうな見通しでございしますので、今回二百万を計上して競輪収入として五千三百二十七万七千円という二と一いたいたわけでございます。以上簡単にございしますが、歳入歳出とも説明を終らうといたします。議長（吉田勇治郎君）おはかりいたします。本案を討論省略原案通り可決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（吉田勇治郎君）異議なしと認めます。よろし本案は原案通り可決さいます。

日程第三、議案第三号を議題といたします。

（書記朗読）

議案第三号 昭和四十二年度館山市休養施設特別会計補正

予算(第二号)

商工観光課長(山田俊康君) 議案第三号について御説明申し上げます。

先ほど市長から説明もありましたように鳩山荘の一角に鳩山一郎先生の胸像を建立しようということになり、補正予算をお願いいたしております。

財源といたしましては繰入金、四十二年分から繰入金、百九十二万のうち百万円を充当いたしまして、それに充てたいということであり、なお鳩山さんから寄付をいただいた土地は五反八畝九歩であります。

現実にあそこで使っておりますものは、約二千五百坪位になっております。現在、鳩山荘自身で農業は、大体四十二年度の実績では、国民宿舎金岡百太

十一カ所あります。うちで二番目、営業成績が非常にいいという事です。そういうふうな状態であります。現実により予算を御決議をいただきまうたら、早速発注いたしまして、三月中にでき上ったら、四月早々に除幕式をやりたいという計画を持っております。以上であります。

二番（関武夫君）ちうと伺いますが、委託料になつてゐるんですが、どこに委託するんですか。

商工観光課長（山田俊康君）今まで市内の北条に木村さんという方がおりました。だいたいこの問題について中に配をいただいております。東京の方で胸像を幾つか作りまして、石井滋さんという方から見せ等をお願いしておりますので、前から鳩山先生の胸像の問題は懸念案となっております。その当時からだいたい研究

等もさけております。ようでありますので、御決議いただきまいたう。そう木村さんを通して東京の石井さんという方と相談してみたいと考えております。

一三番(山田教年君) 胸像についてちうと伺いたいんですが、胸像は銅でございますか。

商工観光課長(山田俊康君) 石井滋さん、杉並区、石井さんという方は彫刻家であります。私ども承知しております。おりますのは青銅というふうに承知しております。

一三番(山田教年君) 胸像はいろんなあひがあるんです。大体安いのは二十万位でもできる。四十万位でもできる。

もちろん、彫刻家でなければできませんが、私胸像で相談を受けておりますが、いろんな作り方があります。値段、差があります。ただ胸像といってもわからないうです。が要するに、この予算でどう程度にできるか。

私にもわかりませんが、もう少しわかりまーたり、教えてもらいたいと思います。私自身もほかうことで多チーておりますので、わからなければ結構ですが。

・商工観光課長(山田俊康君)申し上げます。見積り書をいたたまきまーたのは木村さん、それから石井滋さんという方であります。台石や台が大体二十八万、ブロンズ台が十八万、石ニう雑費が十四万、制作費四十万、合計で百万円。台石の方は、白御影を使つたかどうか、硬質の白御影を使つたが適当であらう。台石の高さは四尺五寸位、二尺角位ということでございます。

・三番(山田教字君)了解いたまーた。

・議長(吉田勇治郎君)おはかりいたします。

本案を討論省略、原案通り可決するに御異議ございませんか。

館山市議会

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(吉田勇治郎君) 異議なしと認めます。よって本案は原

案通り可決されました。

以上により本臨時会に付議されました議案全部を議

了いたしました。

まうて臨時会を閉会いたします。

午前十時三十七分 閉会

一、本日の会議に付した事件

議事日程に同じ。

出席議員

吉田 勇治郎

石井 輝久

嶋田 石蔵

伊賀 多朗

藤田益治

磯辺

博

白熊盛太郎

黒川

正

三幣勇

西村真次

菊井敏博

小柴

孝

山田教宇

遠山ヨネ子

石井正

江田徳太郎

安西益男

島野茂樹郎

中村省吾

関武夫

飯田義男

田中禄郎

田村源治郎

秋山大三郎

安次徳順

望月照正

鈴木市蔵

山口

康

一、欠席議員

五十嵐

昇

小澤恵太郎

昭和四十三年一月二十五日

右会議次第を録し、三三に署名す。

館山市議会議長 吉田 勇

同 署名議員 白 建 盛 大 郎

同 出 田 松 治 郎

